



令和8年6月19日 編集・発行 東大淀小学校 松本 栄

～児童用「防災バッグ」の配備と、命を守る「知恵」の育成～

日頃は本校の教育活動およびPTA活動に多大なるご理解と温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。さて、4月のPTA総会におきまして、全会員の皆様から大切なPTA予算をご承認いただきました。その後、PTA委員会で相談させていただき、今年度より全児童分の「防災バッグ」を配備することとしました。

◆ 教職員とPTAの思いが重なり、生まれた「スターターキット」

当初はカバン本体のみを配布し、中身は各家庭で揃えていただく計画でした。しかし、PTA役員会・委員会から貴重なご意見をいただくとともに、教職員の会議におきましても検討を重ねる中で、「子ども全員の安全の最低ラインを確実に保障しよう」という思いが一致いたしました。

そこで方針をアップデートいたしました。承認いただいた予算を最大限にやりくりし、カバン本体だけでなく、あらかじめ「命を守る基本セット（スターターキット）」を学校側で中に詰めた状態で、子どもたちに一律配布することといたしました。

◆PTA 予算で全員に揃える「安全の土台」

- ・ 防災バッグ本体
- ・ 必須備品4点（防災ホイッスル、緊急アルミブランケット、懐中電灯、乾電池）

※100円均一等の活用や一括購入の工夫により、予算80,000円にぴったり収めることができます。



◆夏休みの宿題「宝探しミッション」：わが家に合わせたレベルアップを！

学校が用意するスターターキットは、あくまで安全の最低ライン（土台）です。ここから先は、子どもたち自身やご家庭の状況に合わせて、カバンをレベルアップさせていきます。夏休み前にバッグを一度お家に持ち帰らせますので、夏休み中にぜひ親子で中身を充実させてみてください。

◆「お金をかけない」知恵の再利用：

追加で新しいものを無理に買っていただく必要はありません。サイズアウトした衣服や厚手の靴下（避難所での着替え用）、使い古しのタオル（止血や防寒用）、ビニール袋（防水や簡易カッパ用）、新聞紙（カバンのク



ッションや防寒用)、あるいは不安を和らげるトランプや小さなお守りなど、家にあるものを知恵で再利用する学習を大切にしています。

もちろん、家にあるものに限定するわけではありません。「やはり水や保存食を入れておきたい」「子どもに合わせた衛生用品を揃えたい」など、ご家庭の判断で専用の備蓄品を購入し、追加していただいても結構です。

※お子様が背負って走れる重さ(体重の1割程度が目安)を考慮しながら、各ご家庭に合った「最適な備え」をご相談ください。

※詳しくは、防災学習後にお子様を持ち帰る文書をご覧ください。

◆ 今後のスケジュール

- ・ 7月：体育館にて、全校児童で「防災学習会」を行います。縦割り班で「お家にあるどんなものが命を助けてくれるか」を話し合った後、PTAからの防災バッグ「贈呈式」を行い、児童へ配布します。
- ・ 夏休み中：各家庭へ持ち帰り、宿題「宝探しミッション」として中身を詰めます。
- ・ 9月上旬：中身が詰まった「自分だけの防災バッグ」を学校へ持参し、教室に常備(いつでも背負えるように保管)します。

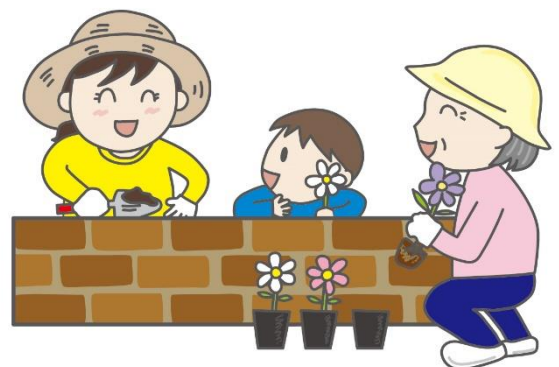
最初から100点満点の中身を目指す必要はありません。まずは皆様にいただいた大切な予算で「全員の安全のベースライン」を揃え、そこから子どもたち自身が知恵を絞ったり、ご家庭で相談し合ったりして「世界に一つだけの防災バッグ」に育てていくプロセスを大切にしたいと思います。

東大淀小学校は、保護者の皆様、地域の皆様と共に、これからも「災害に強い、安心安全な学校づくり」を進めてまいります。ご家庭での温かい声かけとサポートを、どうぞよろしくお願い申し上げます。

6年生が活躍！ まちづくり協議会の皆様と花植え

6月12日、毎年恒例の「まちづくり協議会」の皆様との花植えを、6年生が行いました。

マリーゴールドやハクニチソウなどの苗を前に、子どもたちは「等間隔で植えたらきれいかな?」「色を分けると良いデザインになるかも!」と、お互いにアイデアを出し合いながら楽しそうに作業を進めていました。一人ひとりが、てきぱきと動く姿はさすが最高学年です。



みんなの頑張りであっという間に素敵な花壇が完成し、学校の雰囲気が一気に明るくなりました。地域の方々への感謝の気持ちを忘れず、この美しい花壇をこれから大切に育てていきます。

まちづくり協議会の皆様、まわりの花壇や畑などもきれいにさせていただき、温かいご協力をありがとうございました。